

【運転・定検状況（区分）】

平成 19 年 6 月 20 日

定期検査中の 6 号機原子炉建屋内での水漏れについて

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

定期検査中の 6 号機において、6 月 19 日午後 2 時 40 分頃、原子炉建屋 1 階にある主蒸気配管トンネル室*に設置されているファンネル(排水受け容器)の蓋の隙間から水が漏れ出していることを当社社員が発見したことから、ファンネルにつながる水抜き弁を閉めて漏えいを停止させました。

調査した結果、原子炉給水系機器等の点検終了に伴い、同系統の水張り作業を行っていたところ、水抜き弁が開いていたためファンネルに水が流れ込み、蓋の隙間から漏れ出したものと推定いたしました。

床面に漏れ出した水の量は約 2 リットル、放射エネルギーは約 6×10^5 ベクレルで、すべて当該室内にとどまっており、拭き取りにより処理いたしました。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

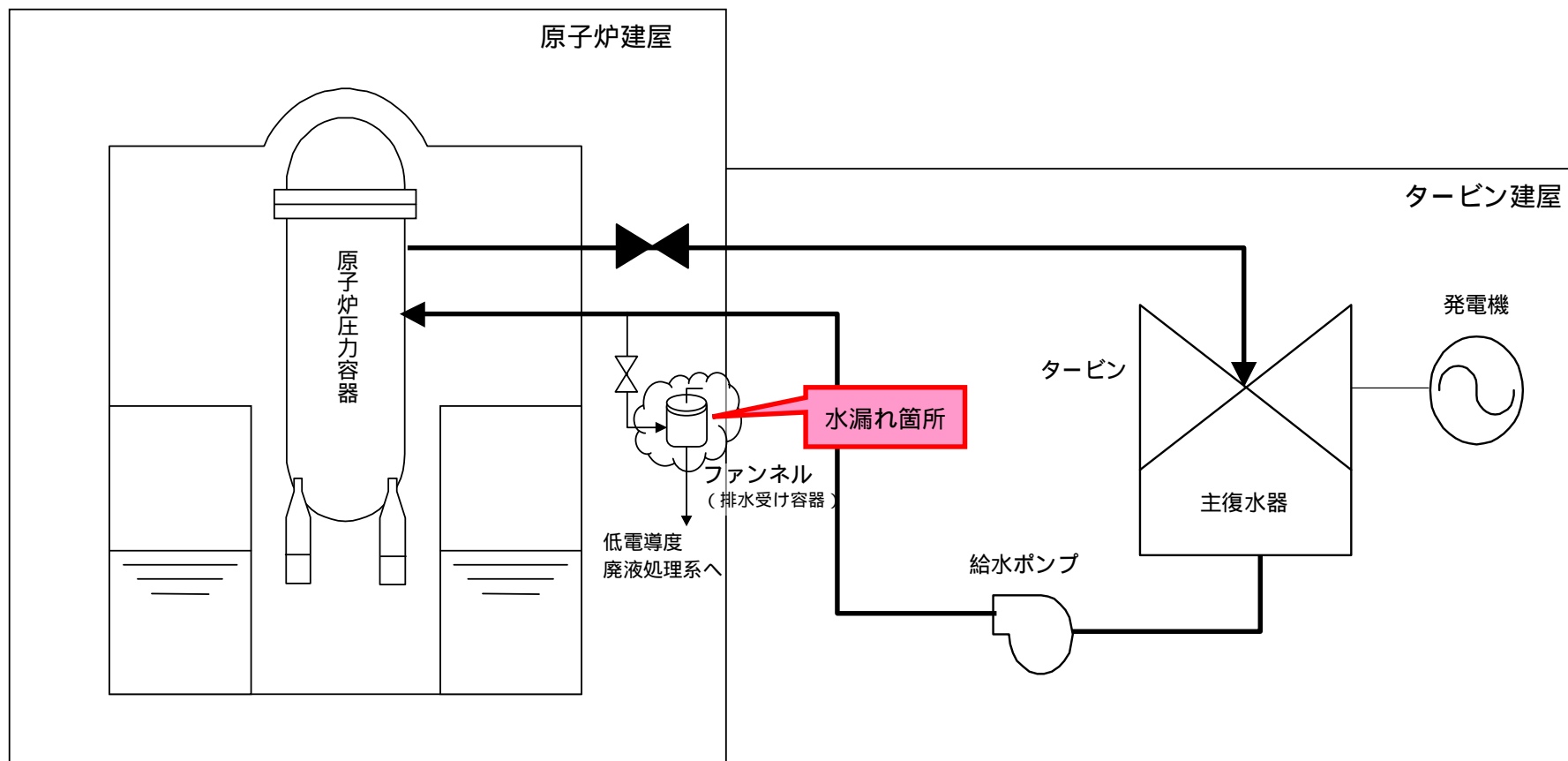
以 上

*：主蒸気配管トンネル室

原子炉で発生する蒸気をタービン建屋に送るための配管と復水器で蒸気から戻した水を原子炉へ送るための配管が通っている室。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

(不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/images/kijun.pdf>)



柏崎刈羽原子力発電所 6号機 系統概略図